



# 岡 津



学校だより 4月号  
令和6年4月8日  
横浜市立岡津小学校  
校長 下畝 直人  
TEL 811-4104  
FAX 812-4586

「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>

検索

## ご入学、ご進級おめでとうございます。

校長 下畝 直人

本日80名の1年生が岡津小学校の子どもたちの仲間入りをしました。子どもたちが『自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子』として健やかに育つよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、2週間前に令和5年度の修了式を行い、代表児童が1年間の振り返りを発表しました。どの子も頑張ったことを立派に発表しましたが、中でも最後に発表した5年生（現6年生Aさん）の発表が素晴らしく、全校の子どもたちから盛大な拍手が起きました。

昨年度5年生（現6年生）は学年目標として『チャレンジ&カバー』を掲げ、「挑戦」「感謝」「思いやり」を意識して活動してきました。Aさんはこの3つを意識して1年間過ごせたことで学年全体が成長できたこと、4月からは最上級生としてさらに高見を目指すことを力強く宣言しました。今年度は学校全体でこの3つの目標を意識して取り組んでいきたいと考えます。

### ○挑戦

学校は失敗ができる場所です。最近の世の中は寛容性が失われているという話を耳にすることがあります。寛容性とは自分と違う考えや行動をもつ他者を受け入れる心の広さです。少しでも失敗したら責める社会なら誰もが怖くて挑戦しなくなります。これは子どもの世界も一緒です。挑戦の背中を押すのは失敗に対する寛容性です。「やらないで後悔するなら、やって後悔しよう！」と子どもたちの背中を強く押していきたいと思います。

### ○感謝

2年前の学校だよりにも書きましたが、「ありがとう」という言葉は言われた人も言った人も温かい気持ちにしてくれる魔法の言葉です。感謝の気持ちを素直に言える人の周りには自然と人が集まります。A棟1階の廊下には「あいさつ」「あんしん」「ありがとう」という3つの「あ」について掲示（校長先生の掲示板）しています。「あいさつ」は子どもたちの中に定着してきました。感謝の気持ちを素直に言える心の柔らかさを育てていきたいと考えます。

### ○思いやり

思いやりとは自分自身に対してではなく、相手の気持ちを考えたり気を配ったりすることです。「優しさ」とも置き換えられます。4月「どのようなクラスにしたい？」と子どもたちに聞くと、「仲の良いクラス」「明るいクラス」「楽しいクラス」と多くの子が答えます。しかし、実際にはトラブルがあったり、けんかがあったりします。大人も一緒です。誰もが平和な世界を望むのに争いが止むことはありません。目標で終わらせるのではなく「仲の良いクラス」「明るいクラス」「楽しいクラス」を作っていきたいと思います。そのためにも友だちの気持ちを考えたり気を配ったりする思いやりの心を育てていきたいと思います。

学校教育の価値は集団を通した学びにあります。その学びを支えてくださるのは保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援に他なりません。今年度も全教職員が「岡津っ子のために」を合い言葉に、全力で子どもたちを支援してまいります。

**保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。**

